

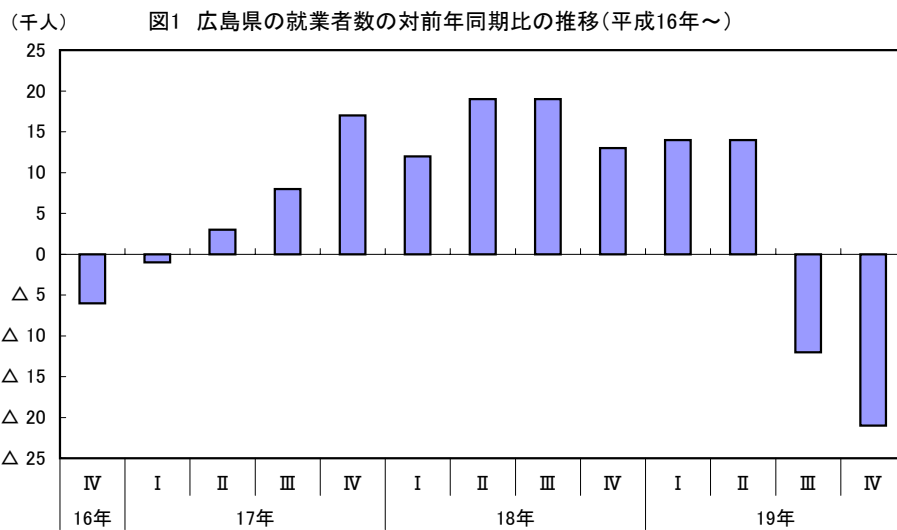
労働力調査都道府県別結果（モデル推計値）
平成19年10月～12月期平均及び平成19年平均結果の概要（広島県）

平成20年3月4日
統計調査室

※ 総務省統計局が、平成18年度から労働力調査の都道府県別四半期平均結果（モデル推計値）を公表することになりました。
この結果の概要は、平成20年2月29日付けの公表を受け、広島県の結果についてとりまとめたものです。
次回の総務省統計局の公表（都道府県別結果平成20年1月～3月期平均）は、平成20年5月30日の予定です。

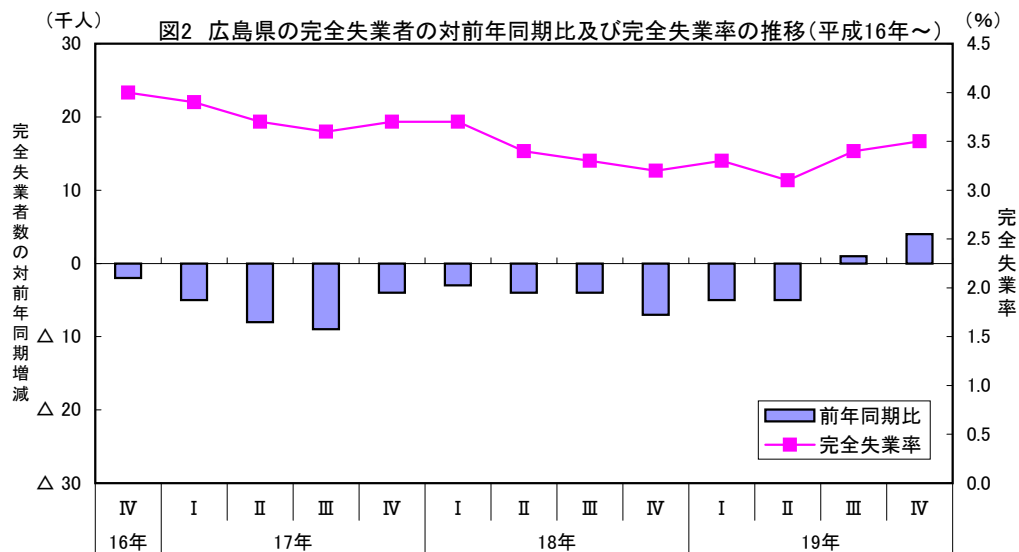
◇四半期平均（平成19年10月～平成19年12月）◇
[就業者]

・広島県の平成19年10月～12月期平均の就業者数は143万人と、前年同期（145万1千人）に比べ2万1千人（1.4%）減少した。2期連続の減少。



[完全失業者・完全失業率]

・広島県の完全失業者数は5万2千人と、前年同期（4万8千人）に比べ4千人（8.3%）の増加。2期連続の増加。
・完全失業率（労働力人口に占める完全失業者の割合）は3.5%と、前年同期（3.2%）に比べ0.3ポイント上昇した。都道府県別での高い方から22番目になる。

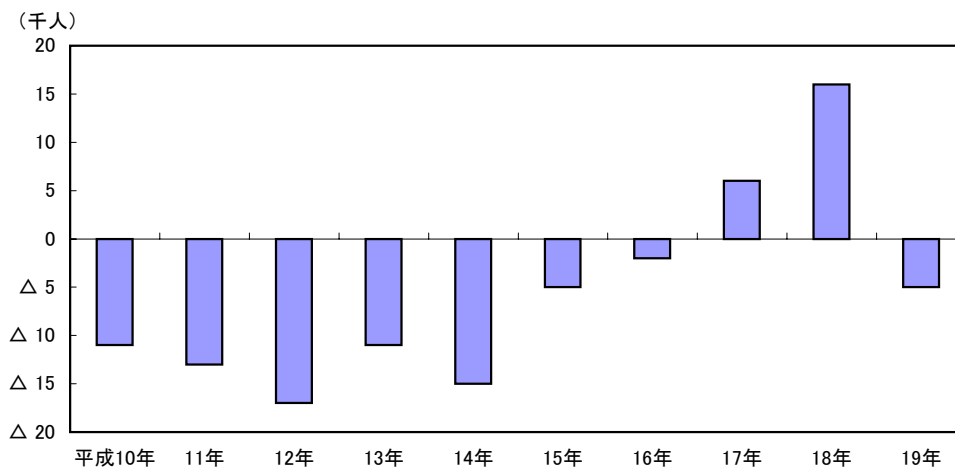


◇平成19年平均◇

[就業者]

- ・広島県の平成19年平均の就業者数は 142万7千人と、前年（143万2千人）に比べ5千人（0.3%）減少した。3年ぶりの減少。

図3 広島県の就業者数の対前年比の推移(平成10年～)



[完全失業者・完全失業率]

- ・広島県の完全失業者数は 5万人と、前年（5万1千人）に比べ1千人（2.0%）の減少。5年連続の減少。
- ・完全失業率（労働力人口に占める完全失業者の割合）は3.4%で、前年（3.4%）と同率。都道府県別での高い方から30番目になる。

図2 広島県の完全失業者の対前年比及び完全失業率の推移(平成10年～)

